



概要

第3世代インテル® Core™ vPro™ プロセッサ



ビジネスをより快適に、
そしてよりセキュアに

公開鍵基盤 (PKI) を備えた インテル® アイデンティティ・ プロテクション・テクノロジーが 実現する最先端の保護機能



- クライアント PC とビジネスデータを保護する最先端のハードウェア・ベースのセキュリティー機能を内蔵。^{1,2}
- インテル® アンチセフト・テクノロジー 4.0³ によってローカルまたはリモートからアクセスを無効化することで、紛失した PC や盗難に遭った PC を保護。所有者の元に戻った際の再有効化も簡単。
- インテル® トラストド・エグゼキューション・テクノロジー⁴ とインテル® パーチャライゼーション・テクノロジー⁵ により、仮想化環境と物理環境のいずれにおいても、マルウェアやルートキットに対する保護を強化。
- インテル® AES New Instructions を利用することで、パフォーマンスを損なうことなく、重要なビジネスデータの暗号化処理を最大で 4 倍^{6,9} 高速化。

インテリジェントなパフォーマンスを ユーザーに



- 素早く起動。いつでもオンライン。いつも最新。応答性を高める最新テクノロジーにより、ユーザーの生産性が向上。
- 第3世代インテル® Core™ i5 vPro™ プロセッサでは、3年前の PC に比べて、マルチタスク処理速度が最大 2 倍、データの暗号化処理速度が最大 4 倍に向上、ビジネス・アプリケーションの動作速度は最大 60% 向上。^{6,7}
- インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 により、作業内容に合わせて動作周波数を自動的に最適化し、必要のないときは消費電力を抑制。⁸
- インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーにより、最大 8 スレッドのマルチタスク処理が可能となり、複数のオフィス・アプリケーションの作業時にも生産性が向上。¹⁰

リモートからの運用管理機能により、 PC メンテナンスの負担を軽減し、 費用対効果を改善



- PC が応答しない場合でも、リモートから PC の設定および診断、感染時の隔離や修復が行える機能により、メンテナンス・コストが減少。^{1,2}
- オンサイトのメンテナンス・サポート件数が最大 56% 減少。¹¹
- ハードウェア・ベースのリモート KVM 制御¹² により、最大 3 台のディスプレイ、ポートレート・モードとランドスケープ・モードに対応。ユーザー同意コードの表示画面は 27 の言語をサポート。電源状態やファイアウォールの内外にかかわらず、PC のディスプレイ出力内容をリモートから確認可能。
- ハードウェア・アシストによるリモートからの電源のオン / オフや、アップデートのサポートにより、夜間メンテナンスにおける電力コストを削減。パッチ適用時間は最大 56% 削減。^{1,11}

革新的な機能が Ultrabook™ や オールインワンなど多彩な形態で 利用可能に



- 最先端の保護機能と優れたパフォーマンスをさまざまな形態の機器で提供することで、ビジネスの快適さとセキュリティーはさらに向上します。
- 外出が多いユーザーには、インテリジェントなパフォーマンスと内蔵セキュリティー機能を組み合わせた、薄型軽量ビジネス・クライアント PC の幅広いラインアップが用意されています。
 - 外出時間が長いユーザーには、洗練された薄型デザインと優れた応答性を備えた Ultrabook™ が最適です。インテルが提案するこの新しいビジネス向けデバイスは、インテリジェントなパフォーマンスと内蔵セキュリティー機能にコンパクト性を兼ね備え、仕事先にも手軽に持ち運ぶことができます。
 - オフィスで働くユーザーには、マルチタッチ方式のインターフェイスを備えたオールインワン・クライアント PC をお勧めします。インテリジェントなパフォーマンスと内蔵セキュリティー機能を提供する一方で、豊富に用意された魅力的なデザインが職場環境をよりいっそうスタイリッシュに彩ります。

用途に応じて最適な第3世代Intel® Core™ vPro™ プロセッサ製品をお選びいただけます。

Intel® Core™ プロセッサ・ファミリーの比較とビジネスニーズへの対応	Intel® Core™ i7 vPro™ プロセッサ	Intel® Core™ i5 vPro™ プロセッサ	Intel® Core™ i7 プロセッサ	Intel® Core™ i5 プロセッサ	Intel® Core™ i3 プロセッサ
Intel® vPro™ テクノロジーのハードウェア・アシストによるセキュリティ ¹	●	●	○	○	○
業界をリードするハードウェア・ベースの予防的セキュリティ技術で、アプリケーションやサービスの安全な実行をサポート: ビジネス PC とそのトランザクションの保護のための Intel® アイデンティティ・プロテクション・テクノロジー ¹³ 、Intel® アンチセフト・テクノロジー 4.0 ² 、Intel® Secure Key、Intel® OS Guard	●	●	●	●	●
Intel® vPro™ テクノロジーによる、応答しなくなった PC を含めた、リモートからの運用管理機能 ³	●	●	○	○	○
Intel® vPro™ テクノロジーに対応した新しい Intel® セットアップ・コンフィグレーション・サービス ³ により、新しい PC をわずか数分で有効化	●	●	○	○	○
Intel® vPro™ テクノロジー・モジュール for Microsoft® Windows PowerShell* による PowerShell スクリプトを活用した運用管理	●	●	○	○	○
シリーズ最高のパフォーマンス	●	○	●	○	○
Intel® AES-NI による、ハードウェア・ベースでの暗号化 / 復号処理速度の向上 ⁵	●	●	●	○	○
Intel® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 による、高いパフォーマンスが必要になったときに自動的に動作周波数を引き上げる機能 ⁸	●	●	●	●	○
インテリジェントな省電力機能	●	●	●	●	●
4 スレッド以上のマルチタスク処理 ¹⁰	●	●	●	○	○
ビルトイン・ビジュアルによる驚異的なビジュアルメディア体験 ¹⁴	●	●	●	○	○
素早く起動。いつでもオンライン。いつも最新。新しい応答性に優れたテクノロジーにより、ユーザーの生産性が向上	●	●	●	○	○

○ 非対応 ● 高度な機能

第3世代Intel® Core™ vPro™ プロセッサ・ファミリーの詳細については、<http://www.intel.co.jp/vpro/> を参照してください。

¹ Intel® vPro™ テクノロジーは高度な機能であり、利用するにはセットアップと有効化を行う必要があります。利用できる機能と得られる結果は、ハードウェア、ソフトウェア、IT 環境のセットアップと構成によって異なります。詳細については、<http://www.intel.com/technology/vpro/> (英語) を参照してください。

² Intel® AMT に対応したチップセット、ネットワーク・ハードウェア、ソフトウェアを搭載し、Intel® AMT の機能が有効化されたシステムが、企業 LAN に接続されている必要があります。ノートブック PC の場合、ホスト OS ベースの VPN 上や、ワイヤレス接続時、バッテリー駆動時、スリープ時、ハイパーネーション時、電源切断時には、Intel® AMT を利用できないことや、一部の機能が制限されることがあります。実際の結果はハードウェア、セットアップ、構成によって異なります。詳細については、<http://www.intel.com/technology/platform-technology/intel-amt/> を参照してください。

³ すべての条件下で絶対的なセキュリティを提供できるコンピューター・システムはありません。Intel® トラストド・エグゼキュション・テクノロジー (Intel® TXT) を利用するには、Intel® パーチャイゼーション・テクノロジー、Intel® TXT に対応したプロセッサ、チップセット、BIOS、Authenticated Code モジュール、Intel® TXT に対応した Measured Launched Environment (MLE) を搭載するコンピューター・システムが必要です。さらに、Intel® TXT を利用するには、システムが TPM v1.5 を搭載している必要があります。詳細については、<http://www.intel.com/jp/technology/security/> を参照してください。

⁴ Intel® アンチセフト・テクノロジー (Intel® AT)。すべての条件下で絶対的なセキュリティを提供できるコンピューター・システムはありません。Intel® アンチセフト・テクノロジーを利用するには、同テクノロジーに対応したチップセット、BIOS、ファームウェア、ソフトウェアを搭載したシステムと、同テクノロジーに対応したサービス・プロバイダーのサービスの追加が必要です。対応状況と機能については、各システムメーカーとサービス・プロバイダーにお問い合わせください。データやシステムの紛失や盗難など、サービス利用の結果生じたいかなる損害に対しても Intel は責任を負いません。詳細については、<http://www.intel.com/go/anti-theft/> (英語) を参照してください。

⁵ Intel® パーチャイゼーション・テクノロジー (Intel® AES-NI) を利用するには、同テクノロジーに対応した Intel® プロセッサ、BIOS、および仮想マシンモニター (VMM) を搭載したコンピューター・システムが必要です。機能性、性能もしくはその他のパーチャイゼーション・テクノロジーの特長は、ご使用のハードウェアやソフトウェアの構成によって異なります。ご利用になる OS によっては、ソフトウェア・アプリケーションとの互換性がない場合があります。各 PC メーカーにお問い合わせください。詳細については、<http://www.intel.com/jp/technology/virtualization/> を参照してください。

⁶ Intel® AES New Instructions (Intel® AES-NI) を利用するには、Intel® AES-NI に対応したプロセッサを搭載したコンピューター・システム、および命令を正しい手順で実行する他社製ソフトウェアが必要です。提供状況については、各 PC メーカーにお問い合わせください。詳細については、<http://software.intel.com/en-us/articles/intel-advanced-encryption-standard-instructions-aes-ni/> (英語) を参照してください。

⁷ クロス・プラットフォームに関する記述は、デスクトップとモバイルのベンチマークのうち、値の低い方のパフォーマンス・データに基づいています。それぞれの構成とパフォーマンス・テストの内容は以下のとおりです。
 ノートブック PC : 出荷前の Intel® Core™ i5-2520M プロセッサ (2 コア 4 スレッド、2.50GHz、3MB キャッシュ)、Intel 製評価ボード、4GB (2x2GB) PC3-10700 (DDR3-1333)、CL9、Hitachi® Travelstar 320GB HDD、Intel® HD グラフィックス 3000、ドライバー: 2185 (BIOS: v.34、Intel® v.9.2.0.1009)、Microsoft® Windows® 7 Ultimate RTM 64 ビット版と、Intel® Core™ 2 Duo プロセッサ T7250 (2MB キャッシュ、2GHz、800MHz FSB)、Intel 製評価ボード、Micron® 4GB (2x2GB) PC3-8500 (DDR3-1066) 400、Hitachi® 320GB HDD、モバイル Intel® 4 シリーズ Express チップセット・ファミリー、8.15.10.2182 (BIOS: American Megatrends AMVACR81.86C.0104.B00.0907270557.9.1.2.1008) を比較。
 デスクトップ PC : 出荷前の Intel® Core™ i5-2400 プロセッサ (4 コア 4 スレッド、3.10GHz、6MB キャッシュ)、Intel 製評価ボード、Micron® 4GB (2x2GB) PC3-10700 (DDR3-1333)、CL9、Seagate® 1TB HDD、Intel® HD グラフィックス 3000、ドライバー: 2185 (BIOS: v.35、Intel® v.9.2.0.1009)、Microsoft® Windows® 7 Ultimate RTM 64 ビット版と、Intel® Core™ 2 Duo プロセッサ E6550 (2 コア 2 スレッド、2.33GHz、4MB キャッシュ)、Intel® DG945GLC マザーボード、Micron® 2GB (2x1GB) DDR2 667MHz、Seagate 320GB HDD、Intel® GMA 950、ドライバー: 7.14.10.1329、(BIOS: CL94510J.86A.0034、INF: 9.0.0.2011)、Microsoft® Windows® 7 Ultimate RTM 64 ビット版を比較。

ビジネス生産性に関する記述は SYSmark® 2007 に基づくものです。SYSmark® 2007 は、一般的なオフィスにおける生産性とインターネット・コンテンツ制作に標準を合わせたベンチマーク・ツールの最新版であり、ビジネス・クリエーション PC の性能評価に利用されています。また、アプリケーションの専門家が開発したユーザー主導のワークロード利用モデルを特色としています。マルチタスクに関する記述は PCMark Vantage® に基づくものです。Windows® 7 または Windows Vista® 搭載 PC のハードウェア性能ベンチマークである PCMark Vantage® は、各種のシングルスレッド / マルチスレッド CPU テスト、グラフィックス・テスト、HDD テストを集約したもので、Windows® 用アプリケーションのテストに重点を置いています。セキュリティ・ワークロードは、SiSoftware Sandra® 2010 - AES256 で構成されます。CPU Cryptographic サブテストは、AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化 / 復号アルゴリズムを実行中

の CPU のパフォーマンスを測定します。詳細については、<http://www.intel.co.jp/jp/performance/> を参照してください。

性能に関するテストに使用されるソフトウェアとワークロードは、性能が Intel® マイクロプロセッサ用に最適化されていることがあります。SYSmark® や MobileMark® などの性能テストは、特定のコンピューター・システム、コンポーネント、ソフトウェア、操作、機能に基づいて行ったものです。結果はこれらの要因によって異なります。製品の購入を検討される場合は、他の製品と組み合わせた場合の本製品の性能など、ほかの情報や性能テストも参考にして、パフォーマンスを総合的に評価することをお勧めします。システム構成: システム構成 + 使用したテスト + テストの実行者を記述。詳細については、<http://www.intel.com/jp/performance/> を参照してください。

⁸ Intel® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応したシステムが必要で、Intel® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 は次世代の Intel® ターボ・ブースト・テクノロジーであり、第 2 世代 Intel® Core™ プロセッサでのみ利用可能です。各 PC メーカーにお問い合わせください。実際の性能はハードウェア、ソフトウェア、システム構成によって異なります。詳細については、<http://www.intel.com/jp/technology/turboboost/> を参照してください。

⁹ Energy Star® は、米国環境保護庁によって定められたシステムレベルの電力仕様であり、プロセッサ、チップセット、電源などすべてのシステム・コンポーネントが同仕様準拠することを求めています。詳細については、<http://www.intel.com/technology/epa/> (英語) を参照してください。

¹⁰ Intel® ハイパースレッディング・テクノロジー (Intel® HT テクノロジー) に対応したシステムが必要です。詳細については、各 PC メーカーにお問い合わせください。性能は、使用するハードウェアやソフトウェアによって異なります。Intel® HT テクノロジーは、すべての Intel® Core™ プロセッサ・ファミリーで利用できるわけではありません。HT テクノロジーに対応したプロセッサの情報など、詳細については、http://www.intel.com/jp/products/ht/hyperthreading_more.htm を参照してください。

¹¹ 結果は、Intel の依頼で LeGrand と Salamasick の第三者監査が実施した、さまざまな企業 IT 環境に対する Intel® vPro™ テクノロジーの 2007 EDS ケーススタディー「An Analysis of Early Testing of Intel® vPro™ Technology in Large IT Departments」、および Intel の依頼で作成された Wipro Technologies の調査レポート「Benefits of Intel® vPro™ Technology in the Enterprise」(2007) からのもので、EDS のケーススタディーでは、Intel® vPro™ テクノロジーを搭載した PC のテスト環境と Intel® Core™ vPro™ プロセッサ・テクノロジー非搭載の環境を比較しています。PC は、通常の作業環境を反映させるため、複数の OS と電源状態をテストを行いました。Wipro の調査では、Intel® vPro™ テクノロジーを導入した場合に予測される ROI (費用対効果) のモデルを行っています。実際の結果は異なる場合があり、より小規模な企業で得られる結果は反映されていない場合があります。これらの調査結果については、http://www.intel.com/Assets/PDF/casestudies/cs_edsvpro.pdf (英語) を参照してください。

¹² リモート KVM (キーボード、ビデオ、マウス) 制御を利用できるのは、Intel® Core™ i5 vPro™ プロセッサおよび Intel® Core™ i7 vPro™ プロセッサでインテグレートド・グラフィックスを有効にした場合のみです。ディスプレイ・グラフィックスはサポートされません。

¹³ すべての条件下で絶対的なセキュリティを提供できるシステムはありません。Intel® アイデンティティ・プロテクション・テクノロジー (Intel® IPT) を利用するには、Intel® IPT に対応した第 2 世代または第 3 世代 Intel® Core™ プロセッサを搭載したシステム、および同テクノロジーに対応したチップセット、ファームウェア、ソフトウェア、Intel® IPT に対応した Web サイトが必要です。各システムメーカーにお問い合わせください。データやシステムの紛失や盗難など、サービス利用の結果生じたいかなる損害に対しても Intel は責任を負いません。詳細については、<http://ip.intel.com/> (英語) を参照してください。

¹⁴ 第 2 世代 Intel® Core™ プロセッサ・ファミリーで利用可能です。Intel® HD グラフィックス、Intel® クイック・シンクビデオ、Intel® クリア・ビデオ HD テクノロジー、Intel® InTru™ 3D テクノロジー、Intel® アドバンスド・ストローク・エクステンションで構成されます。オプションにより、Intel® ワイヤレス・ディスプレイも含まれます (システム上で有効にされている場合)。ビルトイン・ビジュアルの利点が得られるかは、お選の PC の設計によって決まります。ご使用のシステム上でビルトイン・ビジュアルが有効になっている場合は、各 PC メーカーにお問い合わせください。ビルトイン・ビジュアルの詳細については、<http://www.intel.com/jp/technology/visualtechnology/> を参照してください。

